

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

12243

特別展開催事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	2	文化財の活用

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	博物館費		
	大事業	博物館事業		
	中事業	特別展開催事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel
事業実施の根拠法令	博物館法・文化財保護法・和歌山市立博物館条例		関連課	博物館 前田 敬彦 423-0003

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要		
	市民等への歴史・文化へ意識の向上を図ること目的と実施することで、入館者増加へのつなげる。		地域に密着したテーマや和歌山に関連するテーマを年度ごとに選び、展覧会を開催することにより、市民等に和歌山市の歴史・文化の魅力を伝え、郷土和歌山への愛着や意識の向上を図る。		
事業内容	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
	令和2年度は、「紀三井寺展」を開催し、紀三井寺開創1250年を記念とし、その歴史と文化を展示する。	加太淡嶋神社に関する展覧会を開催する。	表千家と紀州藩に関する展覧会を開催する。	日本遺産に認定された葛城修験に関する展覧会を開催する。	万葉1300年関連事業として、和歌の浦に関する展覧会を開催する。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	2,875	2,362	3,163	3,064	3,786	3,113	4,627	0	4,627	0	
伸び率(%)	△33.1%	△42.2%	10%	29.7%	19.7%	1.6%	22.2%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	3,424	5,335	4,887	6,594	3,142	4,637	5,759	0	5,759	0
	正規職員以外	984	0	257	514	514	956	956	0	956	0
	小計	4,408	5,335	5,144	7,108	3,656	5,593	6,715	0	6,715	0
国庫支出金	0	978	983	1,203	1,286	1,447	1,697	0	1,697	0	
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	346	1,180	447	1,150	858	1,210	0	1,210	0	
一般財源(税等)	2,875	1,038	1,000	1,414	1,350	808	1,720	0	1,720	0	
所要人数(人)	正規職員	0.43	0.67	0.63	0.85	0.42	0.62	0.77	0.00	0.77	0.00
	正規職員以外	0.35	0.00	0.05	0.10	0.10	0.32	0.32	0.00	0.32	0.00
主な予算内訳	報償金365千円 印刷製本費1,690千円 展示その他委託料1,386千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
特別展開催日数	日	目標値	32	32	32	32	32
		実績値	37	54	25		
		達成度(%)	115.6%	168.8%	78.1%	%	%
特別展入館者数	人	目標値	2200	2500	2500	2500	2500
		実績値	2864	2588	1817		
		達成度(%)	130.2%	103.5%	72.7%	%	%

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか		できない	○	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	和歌山市の歴史に関する資料を県内外からも集めて、日頃見ることができない資料を展示する事業で、市民文化の向上に資する。
見直し・改善内容	現在の環境で最大限、市民のニーズを反映した展覧会の開催を検討していく必要がある。